

家庭から火の用心

第二日比小六年 松田 孝依

「火事」。その言葉を聞くとビクッとします。火事は人の財産や命をぶつこうともあります。火事を起こさないように気をつけることを考えてみます。

まずは身近に出来ることから始めてみましょう。例えば火災報知器を点検したり、火を使う時は目を離さないなどがあります。火災報知器は月に一回程度作動するか確認して、半年に一回程度ホコリ掃除すると良いそうです。

去年の十月に家族で、玉野市消防本部の、防火訓練に参加しました。私が特に心に残った訓練はけおり体験です。実際に火事が起こると、家の天井から床まで真っ白になる事が分かりました。しかし床の方は天井と比べて少し先まで見えませんでした。この訓練では、もし火事が起こったら、ハンカチなどで口をふさいで姿勢を低くすると良いことが分かりまし

た。

二番目に消火器体験です。まず、ピンを抜いて、ホースを外します。それからレバーを握って火を消しました。私は始めて消火器を使ったので火にめかけて消すとは思ってより難しかったです。

後で知ったのですが消火器の使い方の覚え方は、¹ピ、²ポ、³パンだそうです。ピンを抜く。ホースを向ける。レバーを握るを短く覚える方法です。

火事の時はおわてるのでこれを知っていたら役に立つと思いました。本当は火事など起こさないで消火器も使わない方がいいと思います。